

今回は木枠を使わない簡易的な方法をご紹介します。
ワラ堆肥と同様に木枠を使って積み上げるとより多くの
青草を処理することができます。

材料 使用量は一例です。

A	青草（生）	2000 kg
B	米ぬか	30 kg
他	バймフード	2 kg



1.材料を用意します。青草は10 - 15cm程度に細断されている生のものを使用します。



2. 青草を敷き詰め、その上から米ぬかとバймフードを混合したものを散布します。そのままでは通気性が良すぎて熱が上がりにくいため、周囲を踏み固めます。

3. 青草を積み上げ、その上からその上から米ぬかとバймフードを混合したものを再度散布します。周囲を踏み固めます。



4. 積み上げ、散布、踏み固めの工程を繰り返し、どんどん重ねていきます。



5. 好気性発酵を促すため、切り返しを行います。
(水分が不足しているようなら散水します。)
切り返しのタイミングは以下の表を参考に行ってください。

堆積期間、切り返し

仕込み開始

全材料を混合/堆積

3～4日目

1回目切り返し

7～10日目

温度上昇確認(約60℃)

使用可能



完成までの期間が短い分、期間中の温度管理に注意します。
発酵・分解が不十分なものを施用するとガス害や窒素飢餓の原因となります。



完成!

9. 臭気がほとんどなく、光沢のある茶褐色
(アメ色) になれば使用可能です!